

皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム：ゆう さん からの質問

猿山には数十頭のサルには
それぞれ名前がついていますが、
飼育係の方はどのように
それぞれの個体を判別しているのですか?

ご質問、ありがとうございます。

群れで生活をしているニホンザルたち。外見もとても似ているため、よくお客様からも「どうやって見分けているのか」と質問をいただきます。では、飼育員はどのように見分けているのでしょうか。今日はニホンザルの見分け方をご紹介したいと思います。



飼育員は毎日サルたちと接しているので、顔つきや雰囲気で自然と個体を識別できるようになります。表情や毛並み、体つきなどよく観察すると意外と違いがあるのです。お客様の中にも、サルを見分けられる方もいらっしゃいます。ニホンザルの顔は一見似ているようで、それぞれ個性があり見分けることができます。



また、より正確に個体を判別する方法があります。ニホンザルたちは顔に小さなほくろのような刺青が入れてあり、その刺青の位置によって、番号が分かるようになっています。ニホンザル毎に番号が割り当てられており、刺青の位置と照らし合わせることによって個体を識別することができます。ちなみに個体を識別することはとても重要で、名前が分かるだけでなく、これまでの飼育管理状況や過去の治療歴などの様々な場面で役立たれています。

慣れるまで難しそうに見えますが、特徴を意識して観察することで徐々に違いが分かるようになり、早い方であれば 2～3 ヶ月ほどで覚えられるようになります。

ご来園の際には、ぜひニホンザルたちの表情や特徴に注目していただき、個体ごとの違いを見つけてみてくださいね。個体の違いに気づけるようになると、観察の楽しさがさらに広がり、群れの中の関係性や力関係も見えてくるかもしれません。